

「命を守る」ための 防災教育イラスト

～洪水編～

①危険を察知できる 災害の種類：洪水

解説：

洪水が発生しても自分の家が浸水することはないと思い避難しなかったところ、洪水により自宅が浸水し、溺れる。

（子ども向け解説）

大雨が降ると、自分の家が洪水に巻き込まれてしまうことがあるよ！
⇒自分の家や通学路が、危ない場所かどうか調べることが大事！



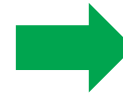
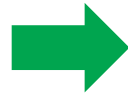
②逃げる決断ができる 災害の種類：洪水

解説：

自宅が浸水していなかったのに逃げなかったが、浸水して逃げようと思ったときには水圧でドアが開かず溺れる。

（子ども向け解説）

ドアの外に30cm水がたまると、ドアが開かなくなってしまうよ！
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう！



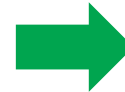
②逃げる決断ができる 災害の種類：洪水

解説：

自宅が浸水していなかったのに逃げなかったが、浸水して逃げようと思った時には水が膝まで浸かり、歩行が困難になり溺れる

（子ども向け解説）

水がひざまでの深さになると、歩くのが難しくなってしまうよ！
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう！



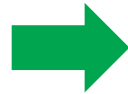
②逃げる決断ができる 災害の種類：洪水

解説：

自宅が浸水していなかったのに逃げなかったが、浸水して逃げようと思ったときには足下が見えず、マンホールや用水路に落ちて溺れる。

（子ども向け解説）

足下が見えない中歩くと、マンホールや水路に気づかず落ちてしまうことがあるよ！
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう！



③適切な避難場所や避難ルートが選択できる 災害の種類：洪水

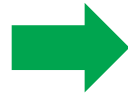
解説：

洪水により自分の家の2階まで浸水することはないと思い、自宅の2階に避難したところ、自宅の2階まで浸水し、溺れる。

(子ども向け解説)

洪水は2階まで押し寄せてくることがあるよ！

⇒自分の家や通学路が、危ない場所かどうか調べることが大事！



③適切な避難場所や避難ルートが選択できる

災害の種類：津波・洪水

解説：

鉄筋のマンションの5階に避難したところ、浸水が1週間継続し、食料が尽きる。

（子ども向け解説）

洪水や津波で長い間水がたまり続けると、避難先で食べ物が尽きてしまうことがあるよ！

⇒自分の家や避難先がどのくらいの間水に浸かってしまうか調べるのが大事！



③適切な避難場所や避難ルートが選択できる 災害の種類：洪水

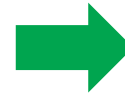
解説：

アンダーパスなどで低くなって冠水した道路に車が気づかず進入し、立ち往生する。次第に水位が上がり、車内まで浸水してしまい、溺れる。

（子ども向け解説）

深い水たまりの中では車が走れなくなってしまうよ！

⇒道路の水たまりには入らず引き返そう！



「命を守る」ための 防災教育イラスト

～津波編～

①危険を察知できる 災害の種類：津波

解説：

津波が発生しても自分の家が浸水することはないと思い避難しなかったところ、津波にのまれる

（子ども向け解説）

地震が起こると、自分の家が津波に巻き込まれてしまうことがあるよ！
⇒自分の家や通学路が、危ない場所かどうか調べるのが大事！



①危険を察知できる 災害の種類：津波

解説：

地震が発生した際に一旦避難しようと思ったが、家が壊れなかったため帰宅したところ、津波が押し寄せてのまれる

（子ども向け解説）

揺れが収まったからといって、自分の家に戻ると津波に巻き込まれてしまうことがあるよ！
⇒津波が来ないことが分かるまで安全な場所に避難しよう！



②逃げる決断ができる 災害の種類：津波

解説：

津波が確認できなかったので逃げなかったが、津波を確認して逃げようと思ったときには、走って逃げても間に合わず、津波にのまれる

（子ども向け解説）

津波のスピードはとても速いので、見えてから逃げても追いつかれて巻き込まれてしまうよ！
⇒揺れを感じたらすぐに高いところへ逃げよう！



②逃げる決断ができる 災害の種類：津波

解説：

津波の予想が50cmでたいした高さでないと思ったので逃げなかったが、50cm程度の津波に巻き込まれ流される。

（子ども向け解説）

低い津波でも勢いで足をすくわれて流されてしまうことがあるよ！

⇒津波の高さに関係なく、揺れを感じたらすぐに高いところへ逃げよう！



③適切な避難場所や避難ルートが選択できる 災害の種類：津波

解説：解説：

津波により自分の家の2階まで浸水することはないと思い、自宅の2階に避難したところ、自宅の2階まで浸水し、溺れる。

（子ども向け解説）

津波は2階まで押し寄せてくることがあるよ！

⇒自分の家や通学路が、危ない場所かどうか調べることが大事！



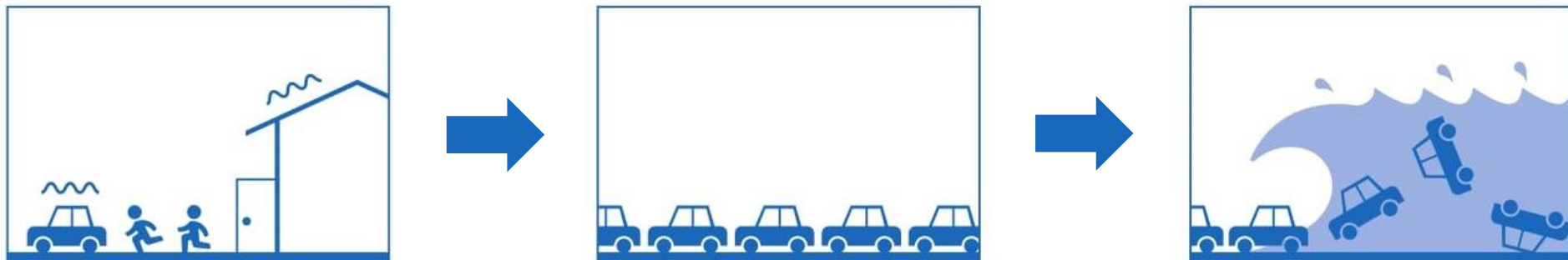
④安全な場所まで移動できる 災害の種類：津波

解説：

車で避難したところ、途中で渋滞に巻き込まれ、津波にのまれる

(子ども向け解説)

車で避難していると、途中で渋滞に巻き込まれて、逃げ遅れてしまうことがあるよ！
⇒揺れを感じたらすぐに高いところへ逃げよう！



「命を守る」ための 防災教育イラスト
～土砂災害編～

①危険を察知できる

災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：

大雨が降った後、山や川の様子の変化に気が付かないでその場にいると、土砂に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

雨が降っている時やその後に小石が落ちてきたら、崖崩れのまえぶれだよ。

⇒山から小石がパラパラと落ちてきたり、山の斜面から水がわき出ていたりするときは、すぐにその場からはなれよう！



①危険を察知できる
災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：

土砂災害が発生しても自分の家が巻き込まれることはないと思い避難しなかったところ、土砂災害により自宅が土砂に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

地震が起きたり、大雨が降ったりすると自分の家が土砂災害に巻き込まれてしまうことがあるよ！

⇒自分の家や通学路が、危ない場所かどうか調べるのが大事！



②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
自宅の1階にいて、土砂災害に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

山から土砂が流れ込んで1階が埋まってしまうことがあるよ！

⇒心配になったら家族と相談してすぐに避難しよう！でも、外が危なそうなら、家の高いところに逃げて！



②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
避難勧告等や気象警報に基づきすぐに避難行動が出来ない。

（子ども向け解説）

テレビなどから「避難」するように言われていたらはやく避難しないと逃げられないよ！
⇒市町村から「ひなんかんこく」のお知らせがあったら、すぐに避難しよう！



④安全な場所まで移動できる
災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
避難中に土砂災害に巻き込まれる。

（子ども向け解説）
避難するときに急な崖の近くを歩くと危ないよ！
⇒避難所や避難する道を家族で話し合おう！



②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（土石流）

解説：

土石流を確認してから逃げようと思ったときには、走っても間に合わなく、土石流に追いつかれる。

（子ども向け解説）

土石流は速いから、見えてから逃げてもすぐに追いつかれるよ。

⇒土石流から逃げるときには、川の流れと同じ方向ではなく、川から離れる方向に逃げよう！



③適切な避難場所や避難ルートが選択できる 災害の種類：土砂災害（土石流）

解説：

垂直避難をすれば大丈夫と思い、自宅の2階に避難したところ、自宅の2階に土砂が流れこみ、埋もれる。

（子ども向け解説）

大きな土砂災害は2階まで押し寄せてくることがあるよ！

⇒家から出られなくならないように、早めの避難を心がけよう！

